

お話

福島県教育庁義務教育課  
米屋 真由美先生

福島県教育庁義務教育課  
梅宮 真里先生

## 音楽科の特徴

音楽科は「表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力」を育成する教科です。

「音楽的な見方・考え方」を働かせるとは「音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や文化などに関連付けること」です。

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を図るためには、学習過程や学習活動において、音楽的な見方・考え方を働かせることができるよう、効果的な指導の手立てを工夫することが重要となります。

幼児期に生活する中で、自然の中の様々な音や、遊びの中で生み出される音や音楽を夢中で聴いて、心動かされたり、具体的なイメージをもったりすることで、小学校以降においても自分の経験と音楽が結び付き、深い学びにつながる事が期待されます。

## 幼児期の遊びを通じた学び

遊びを通して音の面白さや不思議さなどに気付き、心を動かしています。感じたり、考えたり、イメージを広げたりなど、様々な経験を重ねながら、感性や表現する力等の資質・能力が相互に関連し合い、総合的に発達していきます。

具体的には…

- わらべうたや手遊びなどを通して、歌ったり体を動かしたりする楽しさ、友達と声や動きがそろったり思いを共有して遊んだりする心地よさを味わっている
- 身近にある音の違いや変化への気付き、文化に触れる経験が、リズムや音の響きに対する感覚、楽器の音色や演奏への興味・関心、イメージの広がりにつながっていく
- 聴いたり感じたり友達と関わったりしてきたことで、「やってみたい（意欲）」「次はこうしよう（挑戦）」「こうしたらどうかな（工夫）」と、意欲が高まっていく。そして、遊びが広がり、満足感、充実感や達成感を得ることは気持ちの安定にもつながる

# 幼児期の 遊びを通した学び

と

# 音楽科 歌唱

とのつながり

## 遊びを通した学び

互いに誘い合って集まり…  
「♪あぶくたった、にえたった」  
歌詞からストーリーを感じ  
イメージを共有しながら、  
友達と遊ぶ楽しさ、動きや  
呼吸を合わせる心地よさを  
感じ取っている。



### 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

手をつないだり掛け声を合わせたりなどして、友達と歌う楽しさやリズムに乗る心地よさを感じられるわらべうたや伝承遊び等を取り入れています。歌詞やルールは、発達段階に応じてそれまでの経験を踏まえ、幼児たちみんなで確認し合ったり、つくったりすることもあります。

## 遊びを通した学び

遊びと歌がつながった！  
「♪シャ〜ボンだ〜ま〜と  
んだ〜」シャボン玉が膨ら  
み、飛んでいく。その嬉  
しさから、思わず歌を口  
ずさむ。生活の中で音楽  
に親しむ経験を重ねてい  
る。



### 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

幼児は生活経験と歌、歌の世界と遊びを行き来することで、イメージが広がったり、生活や遊びに歌を生かしたりしています。幼児の思いと遊びがつながった時を逃さず、保育者も一緒に楽しむことで、物の名前や自然の様子を表す言葉に触れたり、オノマトペによる表現を知ったり、季節の変化を感じ取ったりしていきます。

## 遊びを通した学び

アルプス一万尺をしていて…  
「もっどスピードアップしよう！」友達と動  
きを合わせながら歌う楽しさ、速度を  
変化させる面白さ、二人で動作がそろ  
う喜び、できた自信や満足感を味わっ  
ている。



## 遊びを通した学び

ジャンケン列車…  
次第に歌声にも気合が  
入る！「勝つのは、どっち？」  
ドキドキわくわくする  
楽しさを味わいながら、  
喜びや悔しさ等の気持  
ちを調整したり、友達  
を応援し認めたりする  
ことができるようにな  
っている。



### 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

声を出す感覚や声の音色を楽しんだり、一体感の心地よさを味わったりする等、表現の面白さに触れる機会となるよう、音の高低・強弱等を変化させます。勝敗が生じる遊びでは、幼児の気持ちに寄り添い、共感することで、感情をコントロールする等の学びに向かう力の育ちを支えています。

## 遊びを通した学び

発表会で歌いたい曲をみんなで考  
え、どんな風に歌いたいかを話し  
合った。「この歌好き！」届けたい  
気持ち、伝えたい思いがあるから  
こそ「歌うって楽しい！」みんなの心  
が一つになった歌声をホールに響  
かせている。



## 遊びを通した学び

先生の動作を見て真似しながら…  
「♪にんじんさん、さくらんぼさん、  
しいたけさん、ごぼうさん」見て真  
似たり、手指を動かしたり、リズ  
ムをとったりしながら一緒に歌う  
楽しさを味わっている。

## 幼児教育を通して育まれた10の姿

- 健康な心と体
- 協同性
- 豊かな感性と表現

※これらの活動では他にも「自然との関わり・生命尊重」「言葉による伝え合い」「道徳性・規範意識の芽生え」などの姿も見てとれますが、ここではあえて「歌唱」に深くつながるものだけを抜粋して記載しています。

## 小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

- 自分が表したい表現を考え、思いに合った表現をするために必要な技能を身に付け、表現する力
- 歌詞の内容や曲想を自分なりに感じ取り、思いをもって歌おうとすること

## 幼児期の遊びを通した学び

曲想や歌詞の内容に合わせて、イメージを広げながら歌うことを楽しむ。  
特徴的な拍や強弱等を体で感じ取りながら気持ちを込めて歌う。

<b>目標</b>	<p>(知識及び技能) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な歌唱の技能を身に付けることができる。</p> <p>(思考力、判断力、表現力等) 拍や速度、強弱の変化を感じ取りどのように歌うかについて思いをもつことができる。</p> <p>(学びに向かう力、人間性等) 楽しく音楽に関わり、友達と協働しながら音楽活動に取り組み、体全体で音楽を感じる。</p>			
<b>学習計画</b>	<p>①②(歌唱) 一枚絵の中にある風景や動物を探して楽しく歌う。</p>	<p>③④(歌唱) 「さんぽ」に合わせて歩き、拍を感じながら楽しく歌う。</p>	<p>⑤⑥(歌唱) 「森のくまさん」を歌い、先生や友達の声を真似して歌う。</p>	<p>⑦(本時：歌唱) 「ひらいた ひらいた」の歌詞の内容から様子を感じ取って歌う。 <small>※丸囲み数字は授業時数</small></p>

## 【授業展開例】

### 導入

「ひらいた ひらいた」を聴き、開いたりつぼんだりする花の様子について感じ取る。



- ★ (はすの花の写真を提示し) この花は、はすの花です。花の様子に注目して聴いてみましょう。
  - (曲を聴きながら一緒に口ずさんでいる。)
  - (曲に合わせて体を揺らしながら聴いている。)
- ★ 今、聴いた曲は「ひらいた ひらいた」という曲です。はすの花は、どのような様子でしたか？
  - 最初は咲いているけれど、いつの間にかつぼんじゃった。
  - つぼんでもまた開いて咲くんだよ。
- ★ よく聴いていますね。  
みなさんは、開いたりつぼんだりしている花を見たことはありますか？



### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期の学びを生かして、自然に歌を口ずさんだり、曲に合わせて体を揺らしたりしながら曲想を感じ取っている姿を「本時のめあて」に結び付ける。



### 展開

気付いたことや感じ取ったことをもとに、体を動かしながら曲想を感じ取って歌う。

- ★ 今日、開いたりつぼんだりする花の様子を思い浮かべながら歌いましょう。

### 花が開いたりつぼんだりする様子を思い浮かべながら歌おう。



- ★ 体を動かしながら花の様子を感じて歌っている人もいましたね。いろいろな動きを試しながら歌ってみましょう。
  - 手のひらで花をつくりながら歌ってみたいな。
  - △△さんと◇◇さんが、ペアになって花をつくっているよ。
- ★ 楽しそうに歌っているね。友達のよいところを真似して歌ってみましょう。
  - 今度は、グループになって聴き合いながら歌おうよ。
  - つぼんだときには、みんなで真ん中に集まって小さな声で歌おうよ。

友達のよいところ  
真似して歌おう♪



### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期に、手遊び歌やわらべうたなどの様々な歌を歌い、友達の声の出し方などよいところを真似して歌った経験から、よりよい歌唱表現の工夫について試行錯誤できる学び合いの場を設定する。

### 発展

開いたとき、つぼんだときの強弱の工夫について歌いながら考える。

- ★ つぼんだときには、声の強さはどう工夫して歌っているの？
  - つぼんだときには、声も弱くするといいよ。
  - 弱いときには、そっと丁寧に歌うといいんじゃないかな。
- ★ 先生は、目をつぶって聴いてみるね。  
みんな工夫が伝わるように、声の強さや弱さを工夫して歌ってみてね。

花がつぼむところは  
そっと歌いたいな♪



### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期に伸び伸びと声を出し、遠くに届くような声で歌った経験と比較して、花がつぼんだ様子を表現しようと、弱く、丁寧に声で表現しようとしている姿を見取り、価値付けていく。

### まとめ

本時の学習をまとめ、次の学習への見通しをもつ。



- ★ 今日、みんなで「ひらいた ひらいた」の花の様子を思い浮かべながら歌ってみました。どのような工夫をすることができましたか。歌った後は、どんな気持ちになりましたか。
  - 丸くなって歌ってみたら、〇〇さんのきれいな声が聞こえてきたよ。
  - つぼんだところは小さい輪になって歌ってみたら、声も小さくなって面白かった。
- ★ 開いているとき、つぼんでいるときの様子をうまく歌で表現することができましたね。

みんなで声の出し方を  
工夫してみよう♪



# 幼児期の 遊びを通した学び

と

# 音楽科 器楽

とのつながり



## 遊びを通した学び

園の夏祭りで…

「かっこいいな！ほくもやってみてみたい！」「太鼓の音が私の体にも響いてくる！」リズムに乗って力いっぱい叩いたり友達とタイミングを合わせたり交代したり。和太鼓の音色や響きから祭りの雰囲気を全身で感じ取っている。

### 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

地域の祭りや園行事等から得られる経験や感動は特別。季節を感じたり日本文化に触れたりする貴重な機会となります。幼児が感じたことを言葉で伝えたり、考えたことを体で表現したりする喜びや楽しさを味わえるよう、幼児の気付きをしっかり受け止めます。



## 遊びを通した学び

自分なりの方法で…

「みてみて！こんな音する！」「ほくは、こうしてみた」「サンタさん、来そうだね！」自分がつくった音、友達が鳴らす音への興味・関心が、好奇心や探究心につながっている。



## 遊びを通した学び

先生に読んでもらった絵本をきっかけに的あて鬼退治ゲームが始まり…「大きな音が出たら勝ちね！」「さっきの方が大きかったよ！」音の違いに意識を傾け、音の大小や響き方を比べ合っている。



## 遊びを通した学び

近所の高校生がクリスマスコンサートに…

「うわあ、大きなラッパ！」「さわってみたい！」見たこともない楽器や聞きなれない音色にすっかり引き込まれ、興味・関心が一気に高まる。実際に触らせてもらい、感動が意欲につながっている。

### 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

小学生はもちろん、中学生や地域の方との交流も大事にしています。園外の人との交流は、本物や珍しいものと出会い、日頃味わえない体験ができる機会になります。人と関わる心地よさや憧れ、感謝する気持ちにもつながります。



## 遊びを通した学び

準備してきたお店がようやく完成！

「カラン♪カラン♪オープンしましたよ～！いらっしゃいませ～！」部屋の入口でミュージックベルを鳴らす。楽器の音で、店員や客に開店を知らせる合図を出している。

### 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

幼児なりに楽器による音色や響きの違いを感じ取ったり、音の雰囲気やイメージを遊びとつながりたりできるように、日頃から楽器に触れられるようにしています。「ミュージックベルの音で知らせたらどうか」とそのような幼児の気付きを大切に、遊びに取り入れていきます。



## 遊びを通した学び

アフリカのダンスと太鼓に触れる異文化体験…

「こんな太鼓、初めて見た！」「手で叩くの？」聴いたら自分もやってみてみたい！見よう見まねで鳴らした音から、見知らぬ国への興味や関心が高まっている。

## 幼児教育を通して育まれた10の姿

●言葉による伝え合い

●思考力の芽生え

●豊かな感性と表現

※これらの活動では他にも「社会生活との関わり」「健康な心と体」「協同性」などの姿も見てとれますが、ここではあえて「器楽」に深くつながるものだけを抜粋して記載しています。

## 小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

●音色に気を付けて演奏したり、友達と合わせて演奏したりする力

●音の特徴を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつこと

## 幼児期の遊びを通した学び

いろいろな楽器の音色に興味をもつ。  
心地よい音色を意識して、楽器を鳴らす。

### 目標

- (知識及び技能) 曲想と音楽の構造との関わり気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な器楽の技能を身に付ける。  
(思考力、判断力、表現力等) 音色、呼びかけとこたえのよさなどや、曲想を感じ取って表現を工夫することができる。  
(学びに向かう力、人間性等) いろいろな打楽器の音色に関心をもち、友達と協働しながら音楽活動に取り組み、打楽器に親しむ。

### 学習計画

#### ①(音楽づくり)

身の回りの音を探して音のスケッチをする。

#### ②(器楽：本時) ③④

いろいろな鳴らし方を試しながら、打楽器を演奏する。(トライアングル、タンブリン、すず、カスタネットなど)

#### ⑤⑥(器楽)

星空を思い浮かべて「きらきらぼし」を楽器で演奏する。

※丸囲み数字は授業時数

## 【授業展開例】

### 導入

トライアングルの音色を聴いてクイズに取り組む。



- ★これからトライアングルを鳴らします。どのような音がするか聴いてみましょう。  
(楽器を鳴らしているときの様子は見えないようにする。①響きを止めずに鳴らす  
②響きを止めて鳴らす ③交互に響かせたり止めたりする ④トレモロ)

- 1番目の音は、ひもみたいのところを持って鳴らしているよ。
- 2番目の音は、楽器をつかんで音を止めているよ。
- 3番目の音は、ひもを持つ手を開いたり閉じたりしているよ。
- 4番目の音は、棒を細かく動かして鳴らしているよ。

聴いたことある！  
私にもできそう♪



- ★トライアングルの音を聴いていろいろな鳴らし方をイメージすることができましたね。

### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

音に関心をもたせる提示の仕方を工夫するとともに、幼児期に周囲のものを叩いて、音の高さを比べたり、響きの違いを感じたりしてきている。よい音を求めて自ら気付く感性を生かして、本時のねらいに結び付ける。

### 展開

いろいろなトライアングルの音の出し方を試す。

- ★①どうすれば①～④と同じ鳴らし方ができるか、実際に試してみましょう。

### いろいろな ならしかたを ためしてみよう。



- ★ペアになってお互いに鳴らしたり聴いたりしながらやってみましょう。友達と試しながら、どのような鳴らし方をすると4つの音が出せるのか探してみましょう。

- 1番は、叩くところで音の鳴り方が変わるよ。
- 4番は、得意だよ。すごく速く鳴らすことができるよ。
- 3番は、楽器が回ってうまく鳴らせないよ。

どうすればくるくる  
回らないのかな♪



- ★先生の鳴らし方や動画を見ながら試してみましょう。

- ひものところをしっかりと持って鳴らしているね。
- 静かなところで聴きながら試してみたいな。
- くるくる回らないようにするのがコツだね。

### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期の学びを踏まえ、音との出合わせを方を工夫するとともに、幼児期に得た知識と経験を生かし「こう鳴らすとあの音が出る」という予想をもとに、友達と試しながら、音色と鳴らし方との関わり気付くようにする。

### 発展

「きらきら星」に合わせて、いろいろな楽器の鳴らし方を試す。



- ★①～④の鳴らし方を生かして、「きらきら星」に合わせて演奏してみましょう。

- いろいろな音色があって面白いな。
- 手を開いたり閉じたりしてうまくコントロールできるようになったよ。
- ひもは短くしてトライアングルが回らないようにできたよ。

### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

教師や友達の鳴らした音を聴く活動を通して、音を比べたり、気に入った音が出せるように挑戦したりと、一人一人の粘り強く取り組む姿を称賛する。

### まとめ

本時の学習をまとめ、次時への見通しをもつ。

- ★みんなで探したコツをもとに、トライアングルのいろいろな鳴らし方を確認しましょう。

- いい音が出る部分を探して鳴らすといいよ。
- トライアングルがくるくる回らないようにしっかりと持つのがコツだよ。
- 響く音とカチカチという音を組み合わせると、面白い演奏ができるよ。

よく響く  
音が出せたよ♪



- ★見たり聴いたりしながら、実際に試すことでいろいろなトライアングルの音を出すことができましたね。

# 幼児期の 遊びを通した学び

と

# 音楽科 音楽づくり

とのつながり



## 遊びを通した学び

周囲のものを叩いて遊んでいたら偶然気付いた音の響き…

「たくさん並べたらどうなるかな？太鼓みたい！」身の回りには、似ている音、面白い音、不思議な音、心地よい音…色々な音がたくさん。幼児はそれを「見付ける」名人！

## 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

幼児の興味・関心や気付きや思いを大事にし、自分なりのタイミングで試したり新たに気付いたり感じ取ったりしている姿を見守ります。幼児が始めた遊びとその時期に経験してほしいことがつながるように、楽しんでいることに合わせて素材を用意したり、声を掛けたりします。



## 遊びを通した学び 楽器づくり…

「見て！ギターだよ」「ほくは太鼓！」楽器の形や音の特徴をもとに、材料やその組み合わせ方、何を使って貼り合わせるかなど、これまでの知識と経験を生かし工夫しながら、自分で考えてつくっている。

## 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

幼児が捉えている楽器の形や音などの特徴を、その幼児なりのイメージで表現できるように手助けします。日頃から廃材集めをしたり、遊びの様子を見ながら図鑑や実物を用意したりして、選んだり試したり確認したりできるようにしています。



## 遊びを通した学び

雨の園庭で傘を差し…「雨の音がする！」ぽつん、ぽつん、傘をはじく雨音を傘から伝わる振動とともに感じている。幼児は諸感覚を働かせ、心と体で自然の中にある音の面白さを感じ取っている。



## 遊びを通した学び

年長さんがつくってくれたマラカス…

「ほくとOOちゃんの音、全然違う！」「どんぐりの音はコトコトだ！」比べ合いながら容器の種類や振り方による音の違いを発見している。幼児は「気付く」名人。

## 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

廃材や季節の自然物を使って音遊びを楽しむことができるように、発達段階や時期に応じて材料を用意し、幼児の気付きや発見の喜びを支えます。オノマトペでの表現により、音の違いへの関心や言葉で表す楽しさにもつなげています。



## 遊びを通した学び

両手で「バンバン！」、足踏み「とんとん！」、おなかを叩いて「ぽんぽんぽん！」、自分の体も立派な楽器！特徴に合わせて、動作や力加減を考えたり、先生の真似（模倣）や繰り返したりすることを楽しんでいる。



## 遊びを通した学び

容器に水を入れたり出したり…「ねえ、聞いて！水が出てくるときの音、面白いよ！」「ほんとだ！ぽくは振ってみたよ！」気付いた音を伝え合いながら、いろいろな音をつくりだす。

## 幼児教育を通して育まれた10の姿

- 自然との関わり・生命尊重
- 言葉による伝え合い
- 豊かな感性と表現

※これらの活動では他にも「思考力の芽生え」「自立心」などの姿も見えてとれますが、ここではあえて「音楽づくり」に深くつながるものだけを抜粋して記載しています。

## 小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

- 身の回りにある音や素材から、自分の好きな音を見付けたり、つくったりして表現する力
- 音遊びを通して、身の回りの様々な音の特徴に気付き、音楽づくりの発想を得ること

幼児期の遊びを通した学び

身の回りの自分の好きな音を見付け、素材を生かして楽器をつくる。  
自然の中の音や、偶然見付けた音の面白さに気付く。

<b>目標</b>	<p>(知識及び技能) 声や身の回りの音などの特徴に気付き、音楽表現を楽しむために必要な音楽づくりの技能を身に付ける。</p> <p>(思考力、判断力、表現力等) 拍やリズムを感じ取り思いをもったり、音楽づくりの発想を得る。</p> <p>(学びに向かう力、人間性等) 楽しく音楽に関わり、友達と協働しながら音楽活動に取り組み、歌で呼びかけ合う楽しさを味わう。</p>			
<b>学習計画</b>	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <p>①②(歌唱)</p> <p>「アルプス一万尺」「なべなべ」など、わらべうたを歌いながら、声や動きを合わせて遊ぶ。</p> </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <p>③④(歌唱・音楽づくり)</p> <p>「やまびこさん」を歌いながら、強弱を工夫し呼びかけ遊びを行う。</p> </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <p>⑤⑥(本時：音楽づくり)</p> <p>拍に合わせて、友達と言葉をつなげて、歌でお話をして遊ぶ。</p> </td> </tr> </table> <p style="text-align: right; font-size: small;">※丸囲み数字は授業時数</p>	<p>①②(歌唱)</p> <p>「アルプス一万尺」「なべなべ」など、わらべうたを歌いながら、声や動きを合わせて遊ぶ。</p>	<p>③④(歌唱・音楽づくり)</p> <p>「やまびこさん」を歌いながら、強弱を工夫し呼びかけ遊びを行う。</p>	<p>⑤⑥(本時：音楽づくり)</p> <p>拍に合わせて、友達と言葉をつなげて、歌でお話をして遊ぶ。</p>
<p>①②(歌唱)</p> <p>「アルプス一万尺」「なべなべ」など、わらべうたを歌いながら、声や動きを合わせて遊ぶ。</p>	<p>③④(歌唱・音楽づくり)</p> <p>「やまびこさん」を歌いながら、強弱を工夫し呼びかけ遊びを行う。</p>	<p>⑤⑥(本時：音楽づくり)</p> <p>拍に合わせて、友達と言葉をつなげて、歌でお話をして遊ぶ。</p>		

【授業展開例】

導入

わらべうたや「やまびこさん」のように歌で呼びかけ合う楽しさを感じ取る。

POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期にしていた手拍子やボディパーカッション等の経験を生かして、常時活動の中でリズムを真似たり、自分の好きな音、心地よい音に気付いたりするようにして、本時への学習に結び付ける。

★友達の声や体の動きを真似したり、合わせたりして、わらべうたや「やまびこさん」が上手に歌えるようになりましたね。今日は、先生や友達の真似をしながら歌でお話をしてみましょう。

●わらべうたや、やまびこごっこは楽しかったな。

うたで おはなしを してみよう。



展開

先生や友達の言葉を真似しながら歌う。

★先生の言葉を真似してみてね。

- ★みなさん ●(全員で) みなさん
- ★こんにちは ●(全員で) こんにちは
- ★なながすき ●(全員で) なながすき
- ★りんご ●(全員で) りんご

自分の好きな音にしたいな♪



POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期に諸感覚を使って様々な遊びに取り組んできた経験を生かして、先生の発する言葉や、声の音色やリズムを聴き取り、面白さを感じながら真似しようとしている姿を称賛する。



★今度は友達同士で、真似をしながら歌でお話をしてみましょう。自由に場所を使っていいですよ。

発展

言葉を真似たり、お話をつなげたりしながら楽しむ。

★今日は、先生が呼びかけるので、それにこたえてみましょう。やってみますね。

- ★○○さん ●はあい
- ★あそびましょう ●いいですよ
- ★○○さん ●はあい
- ★ななが好き ●くるま

うまくつながったら嬉しいな♪



POINT

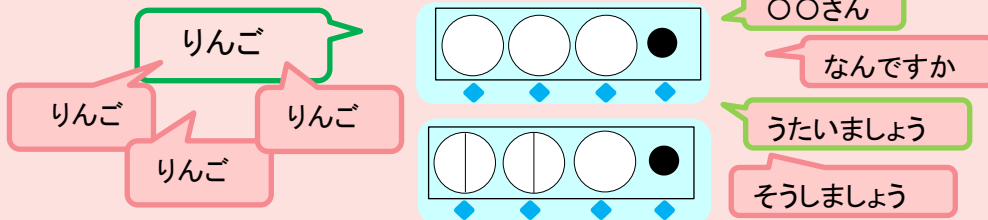
幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期に自ら気付き、好きなものを見付ける活動に取り組んだ経験を生かし、自分の思いや考えを表現することができるように、伝えたい言葉やリズムをカードを用いて可視化する。

- ・・・4分音符
- ・・・4分休符
- ◆・・・拍

友達を真似て

友達とつなげて



まとめ

本時の学習をまとめ、次の学習への見通しをもつ。

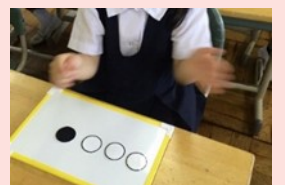
★今日は、先生や友達の言葉を真似たり、ペアになってお話をつなげたりしながら歌でお話をしました。楽しかったことを教えてください。

- 友達と続けて歌うことができて嬉しかった。
- どんどん歌でお話がつながって楽しかった。

歌でお話を もっと続けたいな♪



★どんどんお話がつながって歌でお話をするのが楽しくできましたね。



# 幼児期の 遊びを通した学び

と

# 音楽科 鑑賞

とのつながり



**遊びを通した学び**  
BGMで本物気分！  
「見て、私たち本物のアイドルで〜す！」「なりたいもの」に近づくように友達と考えやイメージを伝え合い、動きを考えたり、衣装をつくったりすることで本物になりきる楽しさを味わっている。

## 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

幼児の興味・関心や遊びの様子に合わせて音楽を用意します。BGMにより雰囲気や気分も変わり、新たな試行錯誤も生まれます。音楽は常に流すのではなく、機器には「さいせい」「ていし」等の印を付け、必要ときに幼児が自分たちで準備して操作したり、使いたい音楽を流したり、他の曲をかけたりすることができるようにしています。



## 遊びを通した学び

準備運動や体操は、音楽に合わせて…  
「ワンツースリーフォー！」リズムに乗りながら体を動かすこと、音に合わせて友達と両手タッチのタイミングが合うこと、みんなの掛け声がそろそろこと…様々な楽しさ、心地よさを感じ取っている。

## 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

幼児は体を動かすことが大好きで、好きなことは自分からどんどんやりたがります。友達と動きや掛け声がそろそろことの心地よさを感じ取ると、繰り返し楽しめます。心と体を解放して楽しめるよう、興味や時期に合わせて選曲しています。



## 遊びを通した学び

園から見える電車や踏切をつくって「間もなく電車が通ります！」カンカンカンカン…先生が流してくれる効果音により、遊びの世界やイメージが一層広がる。



## 遊びを通した学び

音楽を聴きながら…  
「♪…魔女はだれ？」リズムや速度、調の変化を感じ取りながら友達とのやり取りを通して、スリル感を味わったり臨機応変に行動する面白さを楽しんだりしている。

## 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

歌を聴きながらストーリーをイメージし、遊び歌本来の楽しさにつながるよう、ルールを確認したり工夫した動きを紹介したりします。広さによって動きや運動量も変わるので、時期やねらいに応じて活動場所を工夫しています。



## 遊びを通した学び

優しくトントンされながら…  
「先生の声安心する…zzz」楽しかった今日の遊びを思い浮かべながら続きは夢の世界で…先生が歌う子守歌やオルゴールのBGMで昼寝タイム…。



## 遊びを通した学び

年長さんのショータイム…  
音楽に合わせてリズムカルに踊ってみせる5歳児。4歳児は、その姿に憧れの気持ちを抱いたり、曲や衣装などに興味・関心をもって真似したくなったりして「すてき！私もやってみたい！」と声を上げている。

## 幼児教育を通して育まれた10の姿

- 健康な心と体
- 思考力の芽生え
- 豊かな感性と表現

※これらの活動では他にも「協同性」「言葉による伝え合い」などの姿も見えてとれますが、ここではあえて「鑑賞」に深くつながるものだけを抜粋して記載しています。

## 小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

- 曲や演奏の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴く力
- 音や音楽に関心をもち、音や音楽に合わせて体を動かしながら、体全体で音楽を楽しむこと



## 幼児期の遊びを通した学び

人やものになりきって、想像したり、イメージを広げたりして楽しむ。  
音楽に合わせてのびのびと体を動かし、運動する。

### 目標

- (知識及び技能) 曲想と音楽の構造との関わりに気付くことができる。  
(思考力、判断力、表現力等) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見だし、味わって聴くことができる。  
(学びに向かう力、人間性等) 楽しく音楽に関わり、友達と協働しながら音楽活動に取り組み、想像しながら聞かせる楽しさを味わう。

### 学習計画

#### ①(歌唱)

互いの歌声を聞き合いながら「アイアイ」を歌う。

#### ②③(鑑賞：本時)

こねこが楽しく踊る様子を想像しながら、お話を考え「おどるこねこ」を聴く。

※丸囲み数字は授業時数

## 【授業展開例】

### 導入

ねこや犬の様子を想像しながら「おどるこねこ」を聴く。



★教師

- ★どんな動物が出てくるでしょう。(クイズ、部分鑑賞を取り入れてもよい。)
  - ねこの鳴き声みたいなものが聞こえるよ。
  - 犬が吠えているみたいだよ。
- ★これから聴く曲は、アンダソンがつくった「おどるこねこ」という曲です。出てくるねこは、どんなねこなのかな。想像しながら聴いてみましょう。
  - 踊ることが好きなねこかな。
  - 音楽が好きなねこかな。
  - いたずらっこなねこかな。最後は犬に吠えられるから。
- ★いろいろ考えながら聴いていますね。みんなの考えを生かして、お話をつくってみましょう。

動物になりきって聴いてみたいな♪



●児童

#### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期の学びを生かして、動物の鳴きまねクイズをしたり、ねこや犬の鳴き声がする部分の演奏を聴かせたりすることで「本時のめあて」に結び付ける。

### 展開

音楽を聴いて、簡単なお話をつくって友達と話し合う。

### こねこのお話をつくって、たのしくきこう。

(「はじめ・なか・おわり」と板書、ペープサート等の活用、タイムバーの表示)

- ★曲の「はじめ」のときの、こねこは何をしているのかな。
  - 遊ぶことが好きなこねこは、「はじめ」は音楽に合わせて楽しそうに踊っている。
  - こねこの友達がいて、じゃれ合っている。
- ★曲の「なか」のときの、こねこの様子はどうでしたか。
  - 面白いものを見つけて、こねこが追いかけているみたい。
  - 何かにじゃれているのかな。
- ★曲の「おわり」は、何が起きますか。
  - 犬がこねこを見つけてワンワンと吠えている。
  - 犬が吠えたときに、こねこたちはすぐびっくりしているはずだよ。
  - びっくりして、こねこは遠くに逃げちゃったみたい。

いろいろなお話が思い浮かぶね♪



●児童

#### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

ねこや犬と遊んだり、自然の中で鳥の声を聞いたりした体験を思い起こし、こねこが踊っている様子やじゃれ合っている様子を思い浮かべ、音楽と関連付ける。

#### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

子供がつくったお話を板書して、可視化することで、聴いて感じたことを動きにして表現するときの手掛かり(キーワード)にする。

### 発展

お話をして考えたことを、体やペープサートの動きで表現しながら聴く。

こねこがジャンプしているように感じたよ♪



●児童

- ★みんなが想像したのは、どんなこねこなのかな。みんなが考えるこねこの様子をペープサートや体の動きで表現してみましょう。
  - じゃれ合っているところを友達とやってみたいな。
  - 踊ることが好きなこねこだから、くるくる回ってみよう。

#### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期の学びを生かして、ねこや犬の様子を動きにして、音楽を聴いて感じ取ったことを表現できるようにする。その際、音楽と一体感を味わいながら想像力を働かせて聴いている姿を価値付けていく。

### まとめ

本時の学習をまとめ、次の学習への見通しをもつ。

みんなの気に入ったところが分かったよ♪



●児童

- ★今日は、アンダソンの「おどるこねこ」を聴いてみました。この曲の気に入ったところは、どのようなところでしたか。
  - 楽しく踊っていたのに、急に犬が吠えて逃げていくところが面白かった。
  - こねこが遊ぶ様子が音楽と合っていて気に入りました。